

日伯紙パルプ資源開発株式会社による自己株式の取得について

王子ホールディングス株式会社(社長:加来正年、本社:東京都中央区)は、連結子会社である日伯紙パルプ資源開発株式会社(社長:小貫裕司、本社:東京都中央区、以下 JBP)が、昨年より進めておりました自己株式の取得について、本日、同社の株主である伊藤忠商事株式会社(社長:石井敬太、本社:東京都港区)が保有する同社株式の全てを取得し、当社グループ会社を除く株主からの自己株式取得を完了致しましたので、お知らせいたします。

1. 自己株式取得前後の議決権割合の状況

自己株取得前の状況 (2020年9月末時点)	当社の議決権割合: 56.33%
自己株取得後の状況 (2021年5月13日現在)	当社の議決権割合: 100%

2. 日伯紙パルプ資源開発株式会社の概要

名称	日伯紙パルプ資源開発株式会社
所在地	東京都中央区銀座四丁目7番5号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小貫 裕司
資本金	210億88百万円

3. 取得の経緯等

JBPは、ブラジル国のユーカリ植林木を利用したパルプ製造を行うことを目的として、日本の紙パルプメーカー11社および伊藤忠商事株式会社が出資し、1971年に設立されました。1973年にブラジル国策会社であるリオ・ドーセ社と共同で、ミナス・ジェライス州にパルプ製造会社 Celulose Nipo-Brasileira S.A. (以下 CNB)を設立、2001年に JBP がリオ・ドーセ社の所有する CNB 株式のすべてを買取り、CNB を100%子会社としております。

2020年9月30日に JBP は伊藤忠商事株式会社と、同社が保有する全 JBP 株式を取得する旨の「自己株式取得に関する契約」を締結しました。その後クロージングに向けた手続きを進め、本日、株式取得を実行致しました。

CNBは、現在、ユーカリ植林地を14.6万ha保有し、年間120万tの広葉樹パルプを製造しております。当社グループの海外パルプ事業戦略を支える基幹会社であり、今後も当社グループの収益に大きな貢献が見込まれます。議決権割合100%としたことを活かし、機動的な事業運営を進めることで、より一層の事業拡大を図って参ります。

本件に関する問い合わせ先

王子グリーンリソース株式会社 取締役 企画管理部長 河合 正人

TEL:03-3563-7013

王子ホールディングス株式会社

広報IR室

TEL:03-3563-4523 E-mail:oji-holdings@oji-gr.com